

四川省北西部に在る丹巴などの女王谷(ギャロン)と周辺、それにチベット東部に多く残っている高い石の塔は、形(四角や八角や13角)や高さや建てられた時代や用途が様々です。詳細な説明は幾つもの分厚い本や論文等(注1)に譲って、ここでは(個人的偏見が混じった)概要とトピックスだけをご紹介します。

1. 神殿

領主の館に有った高い石の塔は古代ボン教の世界構造だった9層で、最上部が神意を聞く神殿、その下が宝物蔵、その下が領主の居住区だったと考えられます。

隋書の女国や唐書の東女国に記された「女王が住む9層の塔を持つ館」を彷彿とさせる領主の館の一つは、250年位前まで丹巴の北隣の金川県に在った大領主の館です。清朝乾隆帝が女王谷へ進出した時に完全に破壊されましたが、乾隆帝が領

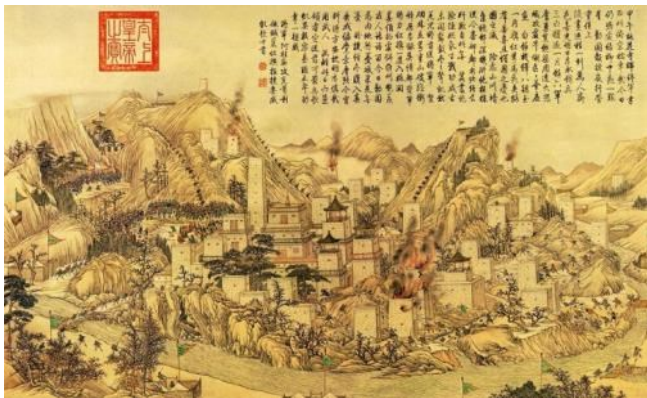


写真 1



写真 2

主の館の全景を記録させています(写真1)。

二つ目が、70年位前まで丹巴の北部に在った小領主の館です。革命の時に破壊されましたが、約100年前に描かれた絵画を撮影したフィルムが残っています(写真2一部復元)。なおこの絵画の右側に描かれている雉は今も周辺の山中で見掛けます。

集落の高い場所に建てられた塔も昔は神意を聞く神殿だったようで、今でも近くに香木を焚き神へ奉納するための石の台が残っている場所があります(写真3)。

2. 見張り狼煙台

250年前前後の金川戦役の時代に数多くの見張り狼煙台が建てられました。女王谷で最も高い50m以上も有る塔もこの時代の物です。領地の境界に建てられた塔も見張り狼煙台です(写真4)。



写真 3



写真 4

金川戦役の時、多く建てられたと同時に多くが破壊されましたが、生き残ったこの種の塔はその後倉庫に使われたり、取り壊して石材を新しく建てる民家に流用したりされています。

3. 倉庫避難住居

子沢山の家や富豪な家が繁栄を祈って神への捧げものとして建て、倉庫や避難住居に使っている塔です(写真 5)。2017年2月に「わんりい」の方々が丹巴の春節を参観された時に登った塔も、この一つです。

高い石の塔は、近年セメントを使って 20m 位までの物が博物館や観光用に建てられていますが、もっと高い泥で固めながら石を積む塔は数 100 年以上の間建てられておらず技術の伝承が途絶えたと言われています。

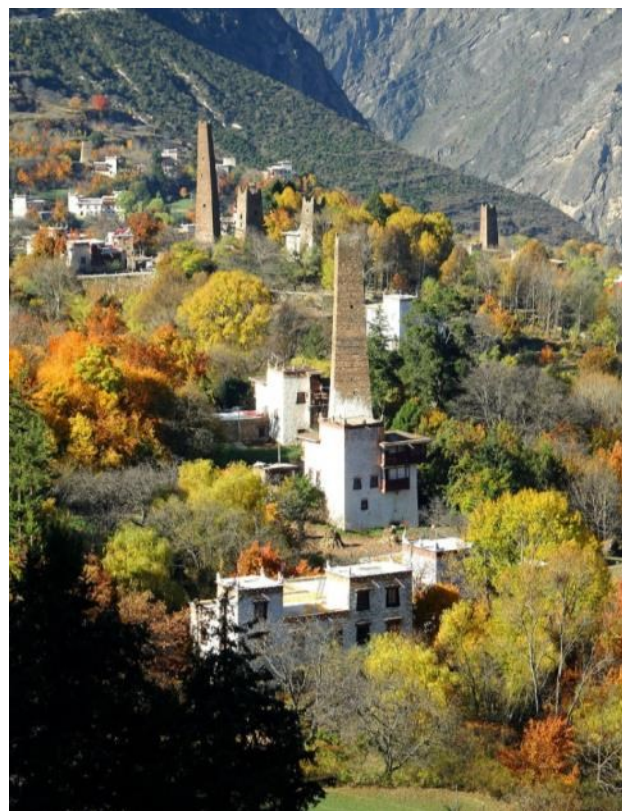


写真 5

注 1) 「Secret Towers of the Himalayas」 Frederique Darragon, Shenzhen Media Group Publishing House, September 2005, ISBN7-80709-043-X

●大川さんのホームページはこちら <http://rgyalmorong.info/index.htm>

<http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm>

▲お知らせ：女王谷の HP (<http://rgyalmorong.info/>) に、当地の風情を紹介するサンプルビデオ (MP4 形式 8MB 前後) 1 分余り×15 本を追加しました。日本語 HP に入って頂いて、先頭頁の左下に有る、「風情のあるビデオ」でご覧になれます。(<http://rgyalmorong.info/scholaweb/queenvideo-j.htm>)